

明海歯科医学 投稿規定

(2024年8月1日改定)

I. 投稿の要件

1. 本誌は年2回、2月、9月に発行する。
2. 本誌への投稿は明海歯科医学会会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はその限りではない。
3. 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。
4. 動物実験は、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」を遵守し、明海大学歯学部動物実験倫理委員会の承認を得たものとし、本文中にその旨並びに承認番号を明記すること。
5. 臨床研究は、「臨床研究法」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、明海大学歯学部倫理委員会の承認を得たものとし、本文中にその旨並びに承認番号を明記すること。
6. 症例報告は、患者のプライバシー保護を徹底し、患者が特定されることがないように記述や図表の作成に留意すること。患者に説明を行い、同意を得た旨を本文中に必ず記載すること。必要に応じて同意書の提出を求めることがあり、文書による同意取得を推奨する。
7. 原稿は和文または英文とする。
8. 未発表論文であること。

II. 原稿形式

1. 原稿

原稿はA4判で、上部余白を30mm、下左右の余白を25mmに設定し、文字の大きさを12ポイントとする。和文論文は横書きで印字する。

2. 表題ページ

表題、著者名、所属の順に、和文および英文で記載する。記載形式は記入例に従う。

[例]

和文 当科における遊離組織移植を用いた口腔顎顔面再建手術の検討

濱尾 綾¹ 加賀屋雅之¹ 重松 久夫¹ 鈴木 正二¹
福田 正勝¹ 馬越 誠之¹ 相浦 靖治¹ 横塚 裕二²
猪野 照夫³ 市岡 滋⁴ 中塚 貴志⁴ 坂下 英明^{1,8}

¹ 明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野

² 富士ヶ丘病院リハビリテーション科

³ 明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野

⁴ 埼玉医科大学形成外科学講座

英文 Clinical Evaluation of Reconstructive Procedures with Microvascular
Free Tissue Transfer for Oral and Maxillofacial Defects

Aya HAMAO¹, Masayuki KAGAYA¹, Hisao SHIGEMATSU¹, Seiji SUZUKI¹,
Masakatsu FUKUDA¹, Seishi MAGOSHI¹, Yasuharu AIURA¹, Yuji YOKOZUKA²,
Teruo INO³, Shigeru ICHIOKA⁴, Takashi NAKATSUKA⁴ and Hideaki SAKASHITA^{1,8}

¹Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Diagnostic & Therapeutic Sciences, Meikai University School of Dentistry

²Rehabilitation Center, Fujigaoka Hospital

³Division of Prosthodontics, Department of Restorative & Biomaterials Sciences, Meikai University School of Dentistry

⁴Department of Plastic Surgery, Saitama Medical College

- (注) (1) 英文表題は、名詞・形容詞などの頭文字を大文字とする。
(2) ローマ字または欧文による著者名表記は、ヘボン式とし、姓（ファミリー・ネーム）はすべて大文字にする。
(3) 著者は、全員その所属機関を著者名の右肩にアラビア数字で表示し、記入する。
(4) 所属名は、省略せず全部記入する。
(5) 著者連絡先（Correspondence）は、著者名の右肩に[§]記号を付けて脚注で記入する。

3. 和文要旨, 英文要旨 (Abstract)

約 450 字の和文要旨と約 300 words の abstract を, 和文および英文の表題, 著者名, 所属の下にそれぞれ記載する.

4. 索引用語 (Key words)

和文要旨および英文要旨の最後 1 行あけて, 和文の場合, 索引用語: ◎◎◎◎, ◎◎◎ 英文の場合, Key words: ◎◎◎◎, ◎◎◎とし, 両方とも 5 words 以内で付記する.

英文 Key words の頭文字は, 学名, 固有名詞など以外は小文字とする.

5. 欄外表題 (Running title)

和文論文は 20 字以内, 英文論文は 40 letters 以内で, 索引用語の次行に, 欄外表題 (英文の場合, Running title): ◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎と記入する.

(注) 上記 2-4. ままで和文記入と英文記入に, それぞれ分けて記載する. 5. は論文言語により, どちらか一方だけに付記する.

6. 本文

1) 投稿論文は原則として Microsoft 社 Word で作成し, 緒言 (Introduction), 材料と方法 (Materials and Methods), 結果 (Results), 考察 (Discussion), 結論 (Conclusions), 利益相反 (Conflict of Interest), 謝辞 (Acknowledgements) の順とする.

2) できるだけ簡潔に, 分かりやすくまとめ, 和文論文は学術用語以外は常用漢字で記入する.

3) 外国語は原則として原綴りとし, 数字はアラビア数字を使う. 度量衡の単位はすべて, 原則として国際単位系 (SI) を使用する. 数値と単位 (°C, %) は除く) の間には半角スペースを入れる.

[例]

5 mg, 10 mM, 50 μm, 100 μl.

4) 動・植物等の学名は, イタリック体とする.

5) 数字, 欧文はすべて半角で入力とする. 欧文では単語間のスペースは, 半角スペースとする.

6) 改行マークは, 段落の最後에만 (行ごとではなく) 入力する.

7) 本文中の文献引用箇所には, その該当する箇所の右肩に片括弧で, 引用順に番号を付ける.

[例]

Smith ら¹⁾ (3 名以上の場合), 佐藤と鈴木²⁻⁴⁾ (2 名の場合)

8) 略号の設定は, 本文中, 該当する語が最初に出てきたところで, () に入れて表示する.

9) 試薬, 機器類の記載は, 商品名, 製造元 (株式会社等は省略), 都市名とする. 海外製の場合は, 商品名, 製造元, 都市名, 国名とする. アメリカ製の場合は, 商品名, 都市名, 州名 (略称表記), USA とする.

10) 本研究に関する企業等との利益相反について, その有無を利益相反 (Conflict of Interest) に明記すること.

[例]

ない場合: 本研究に関する開示すべき利益相反はない.

ある場合: 本研究で使用した○○ (研究費, 試薬, 機材等) は, □□株式会社より無償提供を受けた.

11) 研究助成金等は, 謝辞 (Acknowledgements) に記載する.

[例]

本研究は, 日本学術振興会科学研究費補助金○○ (課題番号) の助成を受けて実施した.

12) 研究の公表機関 (学会等), 日時, 場所などは, 本文末に記入する.

[例]

本論文の内容の一部は, 第○回 ○○学会総会 (○○年○月, 開催場所) にて発表した.

13) 学位論文の場合は, その旨を文末に記載する.

[例]

本論文は, ○○○○の学位論文である.

14) 本文の通しページを, 原稿の右上に記入する.

7. 引用文献 (References)

和文論文の場合は「引用文献」、英文論文の場合は「References」とし、本文中での順に番号を付し、別紙に番号順にまとめて記載する。文献の記載形式は次の記入例による。

1) 雑誌

文献番号) 著者名: 表題. 雑誌名 巻, 引用ページ (最初のページ-最後のページ), 年 (西暦)

[例]

- 1) Gerdes J, Schwab U, Lemke H and Stein H: Production of a mouse monoclonal antibody reactive with a human nuclear antigen associated with cell proliferation. *Int J Cancer* **31**, 13-20, 1983
- 2) 志賀 博, 小林義典: 咀嚼運動の分析による咀嚼機能の客観的評価に関する研究. *日補綴歯会誌* **34**, 1112-1126, 1990

冊子体のない電子ジャーナルの場合

文献番号) 著者名: 表題. 雑誌名 巻, 文献番号, 年 (西暦), doi:

- 3) Mori K, Haraguchi S, Hiori M, Shimada J and Ohmori Y: Tumor-associated macrophages in oral premalignant lesions coexpress CD163 and STAT1 in a Th1-dominated microenvironment. *BMC Cancer* **15**, 573, 2015, doi: 10.1186/s12885-015-1587-0.

2) 単行本

文献番号) 著者名: 章のタイトル. In: 書名. 編集者名, 発行所, 発行地, 引用ページ (最初のページ-最後のページ), 年 (西暦)

[例]

- 1) Powers, MP: Diagnosis and management of dentoalveolar injuries. In: *Oral and maxillofacial trauma*. Fonseca RJ and Walker RV, eds, vol 1, Saunders, Philadelphia, pp323-417, 1991
- 2) 吉木周作: 歯周組織の病変. In: *口腔病理学*. 鈴木鐘美編, 第2版, 医歯薬出版, 東京, pp93-97, 1997

(注) (1) 著者名は, 全員記入する.

(2) 著者名が欧文の場合は, ファミリー・ネームの後に, ファースト・ネーム, ミドル・ネームの頭文字を付け, 著者が複数の場合, 最後の著者の前に **and** を入れる.

(3) : , - **pp** 等の使い方に注意する.

(4) 雑誌名の省略は, 和雑誌は「**医中誌 web**」等, 洋雑誌は「**PubMed**」の省略名による.

(5) 英文論文の引用文献で, 和雑誌から引用した場合はすべて英文で表記し, 雑誌名はローマ字で記入する. 引用文献が和文論文の場合は, (**in Japanese**) と文末に記す.

3) Web サイト・ページ, Web 入手の pdf 等

文献番号) 著者名: “Web ページのタイトル”. Web サイトの名称あるいはサイト運営の団体名. 更新日時. 入手先 URL, (アクセス日)

著者名が曖昧な場合: 取りまとめ機関・団体名等を記載

[例]

- 1) 科学技術・学術審議会 (国際連携を見据えた戦略的脳科学研究推進に関する作業部会): “国際連携を見据えた戦略的脳科学研究の推進方策について-中間取りまとめ-”. 文部科学省. 2017-08-01. https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1954_01.pdf, (閲覧日: 2024-02-02)
- 2) 厚生労働省: “令和4年(2022)人口動態統計(確定数)の概況”. 厚生労働省. 2023-09-15. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei22/index.html>, (閲覧日: 2024-02-02)
- 3) Reynolds S: “Immune boost may protect against multiple hospital-acquired infections”. National Institutes of Health (NIH Research Matters). 2023-10-31. <https://www.nih.gov/news-events/nih-research-matters/immune-boost-may-protect-against-multiple-hospital-acquired-infections>, (Accessed 2024-02-02)

8. 脚注 (Footnote)

- 1) 著者連絡先 (Correspondence) の著者の右肩に^{*}記号を付け、脚注に著者および住所を記入する (本文が和文の場合は日本語で記入し、英文の場合は英語で記入する)。

[例]

和文 § 著者連絡先：坂下英明，〒350-0283 埼玉県坂戸市けやき台 1-1 明海大学歯学部病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野

英文 § Correspondence : Hideaki Sakashita, Division of Oral and Maxillofacial Surgery, Department of Diagnostic & Therapeutic Sciences, Meikai University School of Dentistry, 1-1 Keyakidai, Sakado, Saitama 350-0283, Japan

- 2) その他脚注が必要なときは、*記号を付けて表示する。

9. 表 (Table)・図の説明 (Fig legends)・図 (Fig)

- 1) 表・図の説明・図は、すべて英文で記入する。
- 2) 表の説明は、表の内容を示す短いタイトルを付け Table 1 ○○○○○○, Table 2 ○○○○○○として、表と同じページに記入する。表には、最小限の横の罫線のみを引き、縦の罫線は引かない。
- 3) 表・図の大きさは、刷り上り時で片段の場合で横幅約 70 mm, 両段の場合で約 160 mm になるように作成し、文字、記号などが十分読み取れる大きさ (6.5 ポイント以上) であることを確認し、刷り上り時のものと原図の両方を添付する。
- 4) 図の解像度は白黒 (文字と線のみからなるグラフ、模式図など) は 1200 dpi, カラー、グレースケール (写真などの画像) は 300 dpi 以上とし、ファイル形式は Excel, Power Point, jpg 等とする。
- 5) 表・図はそのまますぐに製版できるものとする。
- 6) 図の説明は、Word で作成し別ファイルに「Fig の説明 (Figure legends)」として、Fig 1 ○○○○○○, Fig 2 ○○○○○○と番号を付け、記入するとともに、査読用に図 (刷り上り時のものと原図の両方) の下部に図の説明を挿入した PDF ファイルを作成する。
- 7) 表・図の本文挿入箇所には、「Table 1 挿入」、「Fig 1 挿入」などと、原稿の右欄外に朱書きする。

III. 投稿方法, その他

1. 原稿の締め切り日は、5月、10月の各月末とする。
2. 原稿は投稿票に指示された順にまとめ、電子媒体 (CD) として明海歯科医学編集事務室に提出する。
住所：350-0283 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
明海大学歯学部メディアセンター内
明海歯科医学編集事務室
3. ファイル構成は「表題と要旨 (和文, 英文)」, 「本文」, 「引用文献」, 「脚注」, 「表」, 「図の説明」, 「図」をそれぞれ別のファイルにして、各ファイル名を付ける。[本文等 (Word), 写真・図・表等 (Excel, Power Point, jpg 等)]
4. 査読用ファイルとして「表題と要旨 (和文, 英文)」, 「本文」, 「引用文献」, 「脚注」, 「表」, 「査読用図 (刷り上り図と原図)」を 1 ファイルにまとめ、通しページを右上につけた PDF ファイル [PDF/X-1 a 形式 (容量 25 Mb 未満)] も合わせて作成する。
5. 投稿の際は、必ずチェック済みの「明海歯科医学投稿票」および「同意書」を添付する。
6. 別刷希望部数、論文種別等は投稿票所定欄に明記する。
7. 不慮の事故に備えて、投稿者は原稿の電子媒体のコピーを保存しておく。
8. 校正において、字句を著しく変更、追加、削除することは認めない。
9. 投稿された電子媒体 (CD) は、返却しない。

IV. 著作権の帰属

1. 本誌に掲載された論文の著作権は、明海歯科医学学会に帰属し、著作権委譲に関する同意書を提出する。

明海歯科医学投稿票

No.

受領印

<input type="checkbox"/> 総説		<input type="checkbox"/> 和文		別刷部数					
<input type="checkbox"/> 原著論文		<input type="checkbox"/> 英文							
<input type="checkbox"/> 症例報告									
表題									
著者（全員）									
論文責任著者 (第一校正責任著者)		氏名							
		所属							
		住所							
		Tel :		(内線・PHS)		E-mail :			
第二校正責任著者		氏名							
		所属							
		住所							
		Tel :		(内線・PHS)		E-mail :			
原稿ページ数		表題・要旨		本文	引用文献	脚注	表	図の説明	図
		(和) (英)							
・ソフト名 ・PC機種名(OS名)				・カラー印刷を希望する表・図がありますか (Yes, No) ・英文校閲が終わっていますか (Yes, No)					
初校			再校				備考		受理日
印→編	期限日	校→編	編→印	印→編	期限日	校→編	編→印		

貴方の原稿が「明海歯科医学投稿規定」に従っているかどうか、確実にチェックしてください。適合している項目は左欄に✓印を付け、不適合の項目は、原稿を必ず訂正してから✓印を付けてください。受領後の査読で大幅に規定に従っていなかった場合は、受付けを取り消されることもあります。

	未発表論文であること、および著作権委譲に関する同意書を添付しましたか。
	原稿は、生命倫理に十分配慮し、A4版でわかりやすく記入されていますか。
	ファイル構成は「和文表題・和文要旨・索引用語・欄外表題と英文表題・Abstract・Key words」, 「本文」, 「引用文献」, 「脚注」, 「表」, 「図の説明」, 「図」をそれぞれ別のファイル (Word, Excel, Power Point 等) にまとめてありますか。 〈注〉欄外表題は、論文の言語により、和文 (索引用語) または英文 (Key words) のどちらかの最後に付記する。

裏面へ続く

	査読用ファイルとして「和文表題・和文要旨・索引用語・欄外表題と英文表題・Abstract・Key words」, 「本文」, 「引用文献」, 「脚注」, 「表」, 「査読用図（刷り上り図と原図）」を1ファイルにまとめ、通しページを右上につけたPDFファイル[PDF/X-1 a形式（容量25 Mb未満）]を添付してありますか。
	和文要旨は約 450字 , 英文要旨（Abstract）は約 300 words 以内で記入されていますか。
	和文要旨または英文要旨の最後に1行あけて、和文の場合 索引用語：○○○, ○○○ 英文の場合 Key words ：○○○, ○○○と 5 words 以内で記入してありますか。
	Key wordsの頭字は、学名、固有名詞など以外は小文字となっていますか。
	欄外表題が、和文論文の場合は 20字以内 , 英文論文の場合は 40 letters 以内で、索引用語またはKey wordsの次行に、欄外表題：○○○○○として記入されていますか。
	表題・著者名・所属の記載形式が、投稿規定[例]のようになっていますか。
	英文表題は、名詞・形容詞などの各語の頭字を大文字にしてありますか。
	著者のローマ字表記は、ヘボン式で名 姓となっており、姓はすべて大文字で書かれていますか。
	学術用語以外は常用漢字、外国語は原則として原綴り、数字はアラビア数字を使ってありますか。
	度量衡の単位は、原則として国際単位系を使い、特殊な字体・記号などはわかりやすく書いてありますか。
	動・植物などの学名のイタリック、数字・記号などの大小、および特殊記号などの指示が正確にしていますか。
	機械、試薬、試料などのメーカー名、所在地を記入してありますか。
	本文中の文献引用箇所には、その右肩に1), 2, 5), 6-11)のように、片括弧で番号が示されていますか。
	本研究に関する利益相反（Conflict of Interest）について記載してありますか。
	研究助成金等は、謝辞（Acknowledgements）に記載してありますか。
	研究の公表機関（学会等）、日時、場所などは、本文末尾に記入してありますか。
	本文の通し頁が、原稿右上に付けてありますか。
	表（Table）、図（Fig）の説明および図（Fig）は、すべて英文で記入されていますか。
	表（Table）の説明は同じ頁に直接記入してありますか。
	表（Table）、図（Fig）の本文挿入希望箇所に、Table 1 挿入、Fig 1 挿入などと、朱書きで原稿右欄外に指示してありますか。
	表（Table）、図（Fig）の大きさは、刷り上り時の片段の場合で横幅約70 mm、両段の場合で約160 mmとなり、文字、記号などが十分読み取れる大きさ（6.5ポイント以上）になっていますか。
	表（Table）、図（Fig）は、縮小した刷り上りのもと原図（Excel, Power Point, jpg等）を添付し、原図には縮小率の指示がしてありますか。
	査読用に図（刷り上り時のものと原図の両方）の下部に図の説明を挿入したPDFファイルを作成していますか。
	引用文献は、和文論文の場合“引用文献”英文論文の場合“References”とし、引用順に番号を付け、投稿規定に従って記入されていますか。 特に、次のことに注意してください。
	① 著者名は、原則として全員記入してありますか。
	② 欧文著者名の場合は、姓 名とし、名は頭字だけを大文字で付け、複数著者の場合は and を入れてありますか。
	③ 雑誌名の省略は「医中誌 web」「PubMed」に準拠していますか。
	投稿票太枠内の記入が、もれなく明確に記載されていますか。
	電子媒体（CD）は、投稿規定の指示どおりファイルを保存し、代表者と所属、提出年月日が明記されていますか。

同意書

年 月 日

明海歯科医学会
明海歯科医学編集委員長 殿

論文名：

著者名：

1. 本論文はオリジナル論文であり、他の雑誌に投稿および発表されていません。
2. 本論文の著作権は明海歯科医学会に委譲いたします。

責任著者署名： _____ 印

共著者署名： _____ 印 _____ 印

(注) 共著者は全員署名・捺印してください。足りない場合はコピーしてください。